

## エムシーエイ、「ケータイポータルサイト・メールサービス利用実態調査 2006」の調査結果を発表

～携帯向けポータルサイトの認知率は 53.0%、認知率トップは「ヤフーモバイル」、  
携帯電話での「ウェブメール」利用率は 12.3%～

移動体通信・IT 専門の調査会社である株式会社 M C A は、アイブリッジ株式会社の運営するインターネットリサーチサービス「リサーチプラス」モニターの中から携帯電話（PHS 除く）を利用している 1,200 名を対象に実施した調査をまとめた「ケータイポータルサイト・メールサービス利用実態調査 2006」の結果を発表した。

今回の調査からは、

- ・携帯向けポータルサイトの認知率は 53.0%、ただし認知者の 6 割は現時点で利用せず
- ・携帯電話向けポータルサイトでの利用コンテンツ：男性は最新情報、女性はコミュニケーション
- ・主要携帯電話向けポータルサイトの認知率、「ヤフーモバイル」がトップに
- ・携帯電話利用者の 12.3%が携帯からウェブメールを利用、多くは無料サービスを活用
- ・メール転送による PC と携帯の連動、現時点では浸透せず

などが判明した。

なお、調査結果は、別途「ケータイポータルサイト・メールサービス利用実態調査 2006」というかたちで報告書にまとめている。

「ケータイポータルサイト・メールサービス利用実態調査 2006」

[http://www.mca.co.jp/pay\\_contents/FormMail/mobile\\_portal2006.htm](http://www.mca.co.jp/pay_contents/FormMail/mobile_portal2006.htm)

### 調査結果要約

携帯向けポータルサイトの認知率は 53.0%、ただし認知者の 6 割は現時点で利用せず

「携帯電話向けポータルサイト」の認知率（携帯向けポータルサイトを知っていると回答した割合）は 53.0%だった（図 1）。特に、男性の 20 代・30 代では認知率は 60%を超えている。また、パケット通信定額制サービスの利用者間では認知率は 65.1%となった。

携帯向けポータルサイトの認知者のうち、携帯向けポータルサイトを携帯電話から利用したことがあるのは 41.2%。「知っている」人のうち、半数以上は現時点では利用経験がないという結果になった（図 2）。女性に比べ男性の方が利用経験率は高く、男性の 44.5%に対し女性は 37.0%。また、20 代と 30 代の男性では、利用経験率が 50%を超えた。

図 1 携帯向けポータルサイトの認知状況（N=1200）

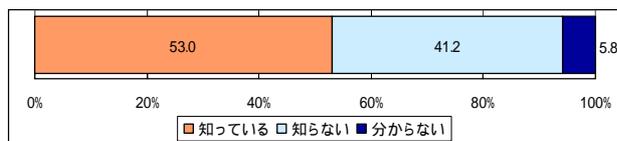
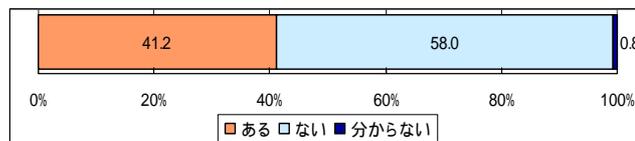


図 2 携帯向けポータルサイトの利用経験（N=636）



携帯電話向けポータルサイトでの利用コンテンツ：男性は最新情報、女性はコミュニケーション

表 1 携帯向けポータルサイトで利用するサービス・コンテンツ（上位 3 項目）（N=262）

No.	項目	%
1	ホームページ検索	51.9
2	天気予報・気象情報	37.8
3	メールの送受信	32.1

携帯向けポータルサイトの利用経験者に対して、携帯向けポータルサイトで利用しているサービス・コンテンツを複数回答式で選択してもらったところ、最も多かったのが「ホームページ検索」の 51.9%。回答者の半数以上が利用している唯一のサービス・コンテンツとなっている（表 1）。

相対的に男性の利用率が高いのは「天気予報・気象情報」、「一般ニュース」、「スポーツニュース」、「金融情報」など。最新情報に対するニーズが高くなっている。

逆に、女性の利用率が高いのは「メールの送受信」、「着信メロディ・着うた・動画（着ムービー）のダウンロード」、「ブログの作成・トラックバック」など。コミュニケーションツールとエンタメコンテンツに対するニーズが高くなっている。

## 主要携帯電話向けポータルサイトの認知率、「ヤフーモバイル」がトップに

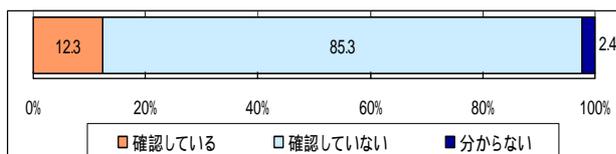
表2 認知率(上位3サイト)(N=262)

No.	サイト名	%
1	ヤフーモバイル	93.5
2	infoseekモバイル	55.3
3	Googleモバイル	48.1

今回の調査では、携帯向けポータルサイトの利用経験者(262サンプル)に対し主要21サイトの評価をたずねている。指標は「認知率」「利用経験率」「定期利用率」「満足度」「最もよく利用するサイト」の5つ。認知率では、「ヤフーモバイル」がトップとなった(表2)。パソコンでインターネットを利用する層にとって「ポータル=ヤフー」というブランドは定着しており、そのブランド力がそのままモバイルの世界にも反映されていることがうかがえる結果となった。

## 携帯電話利用者の12.3%が携帯からウェブメールを利用、多くは無料サービスを活用

図3 ウェブメールの利用状況(N=1200)

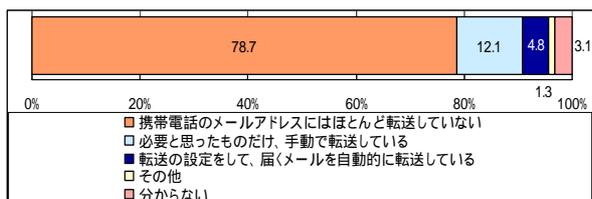


ウェブメール機能を使って、携帯電話以外のメールアドレスに届くメールを携帯電話で「確認している」と回答したのは全体の12.3%。男女別に「確認している」と答えた割合をみると、男性が15.7%、女性が8.5%となり、男性のウェブメール利用率が高くなった。特に、20代男性と30代男性では「確認している」割合は19%台となっている。

ウェブメール機能を使って携帯電話からメールを確認していると回答した147サンプルに対し、どのようなサービスを使ってウェブメール機能を利用しているか、複数回答式でたずねた。その結果、最も多かったのは「無料の『ウェブメール』サービス(フリーメール)」で、ウェブメール利用者の63.9%が利用している。

## メール転送によるPCと携帯の連動、現時点では浸透せず

図4 携帯へのメール転送状況(N=1200)



携帯電話以外のメールアドレス(プロバイダーや会社・学校のメールアドレスなど)に届くメールを、携帯電話のメールアドレスに転送しているかどうかをたずねたところ、「ほとんど転送していない」という回答が全体の8割弱を占める結果となった。「転送設定をして、届くメールを自動的に転送している」は4.8%にとどまった。

### 調査の方法

2005年10月14日から10月21日までの8日間、アイブリッジ株式会社の運営するインターネットリサーチサービス「リサーチプラス」モニターのうち、携帯電話(PHS除く)を利用しているユーザーを抽出、調査を実施した。調査の回答者数は1,200名。

### 報告書の概要

「ケータイポータルサイト・メールサービス利用実態調査 2006」

発行会社：アイブリッジ株式会社・株式会社MCA  
 判型：A4版・177ページ  
 発刊：2006年2月  
 価格：50,400円(消費税込)  
 販売方法：CD-ROMおよび印刷レポート  
 \* CD-ROMについては、編集しやすいよう Microsoft Word ならびに Microsoft Excel 形式にて収録されています。

### 【調査レポートの詳細】

[http://www.mca.co.jp/pay\\_contents/FormMail/mobile\\_portal2006.htm](http://www.mca.co.jp/pay_contents/FormMail/mobile_portal2006.htm)

### 本プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社MCA (<http://www.mca.co.jp/>)

〒106-6138  
 埼玉県さいたま市南区南浦和 2-3-2 日栄ビル  
 Tel: 048-813-7395  
 Fax: 048-813-7399  
 E-mail: <mailto:support@mca.co.jp>

アイブリッジ株式会社 (<http://www.ibridge.co.jp/>)

〒553-0003  
 大阪府大阪市福島区福島 6-13-6 森山ビル  
 Tel: 06-6458-5816  
 Fax: 06-6458-5837  
 E-mail: [press@ibridge.co.jp](mailto:press@ibridge.co.jp)